

OKAZAKI

ARCHITECT&ASSOCIATES

宿泊施設特集

京都、大阪での宿泊施設を特集したものです。
近年、宿泊施設の増加に伴いより一層宿泊施設としての質が問われる時代になったと言えます。
たった今の対応だけでなく、将来をしっかりと見据えた計画と対応が求められます。

- ・敷地のロケーション
- ・宿泊施設としての位置づけ
- ・宿泊客層のターゲット
- ・客室の大きさ、質
- ・経営上、運営上の目ざすべき特色

クライアントの意向を踏まえた上で、上記のコンセプトが十分に練り込まれたものでなければこれからの宿泊施設として上質なものとは言えないと思います。

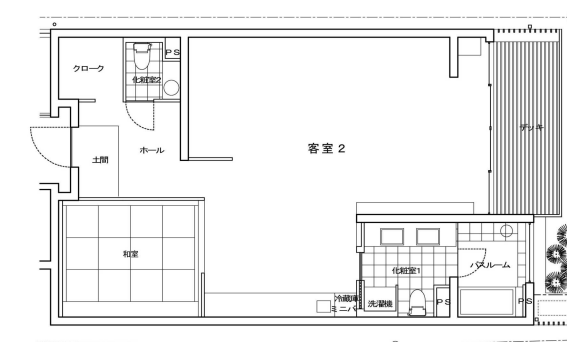
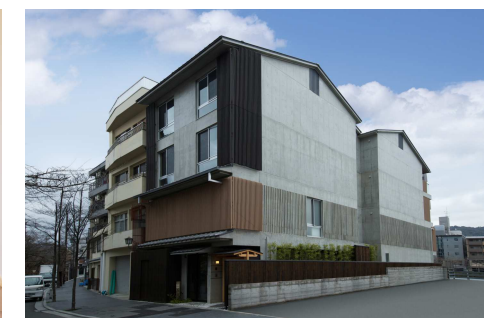
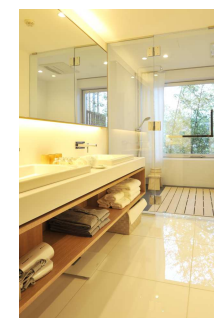
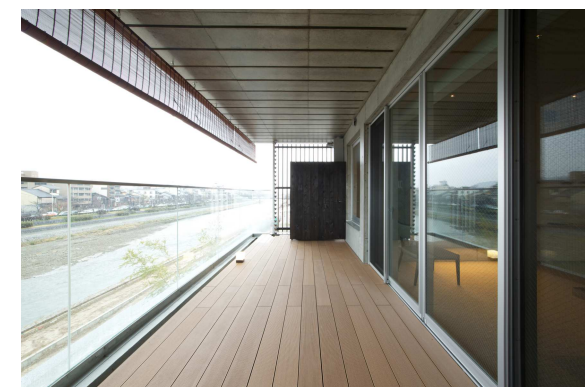
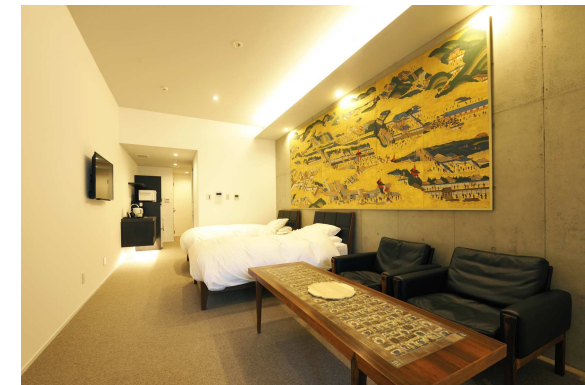
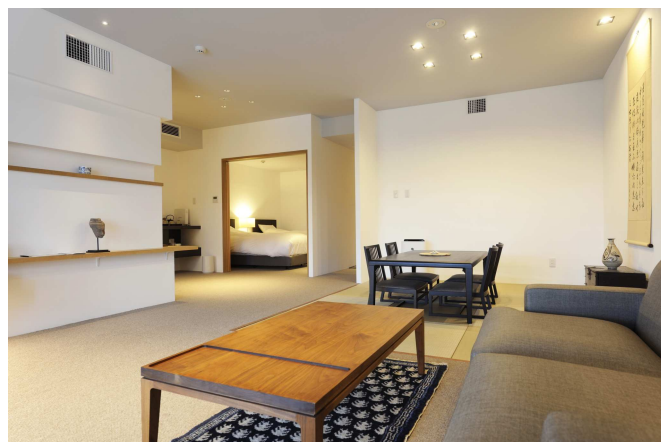
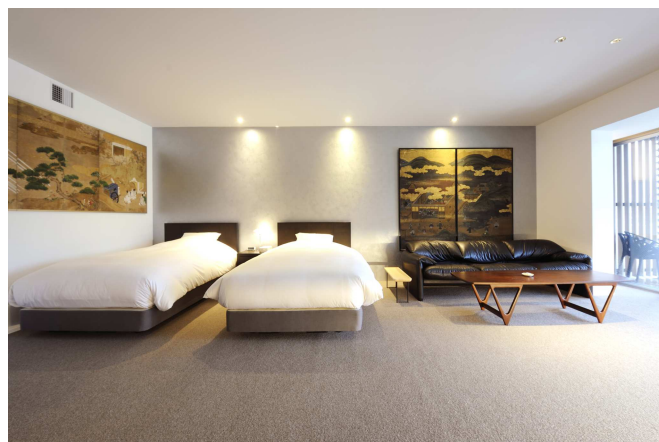
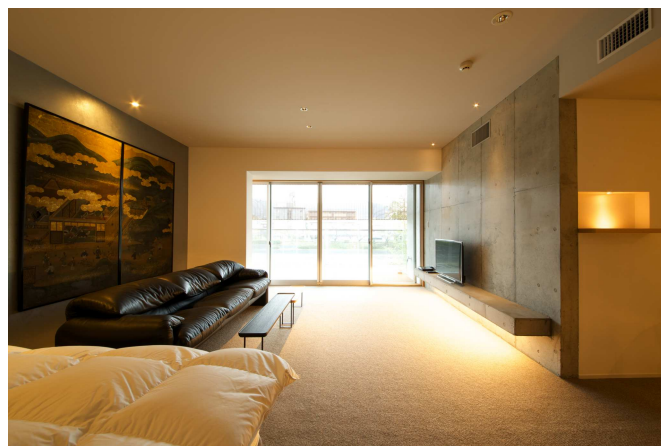
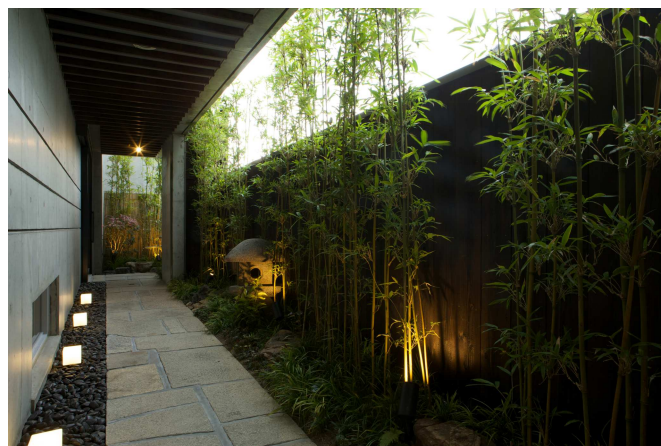
長年の経験と多くの事例を生かしてこれからも宿泊施設の設計に励んでいきたいと思っています。

葵 HOTEL KYOTO

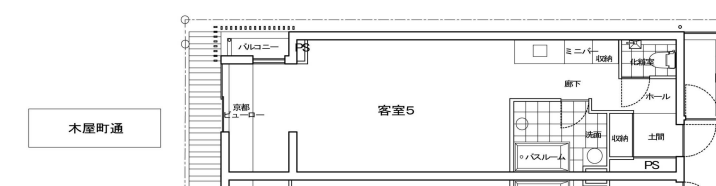
鴨川、高瀬川に面した京都のおもてなしホテル

鴨川に面した大きなデッキのある広い客室と
高瀬川に面したモダンな客室がお客様を迎えます。
隠れ家として、長期滞在の宿として時間を忘れるしつらいがあります。

富裕層向けの宿



鴨川

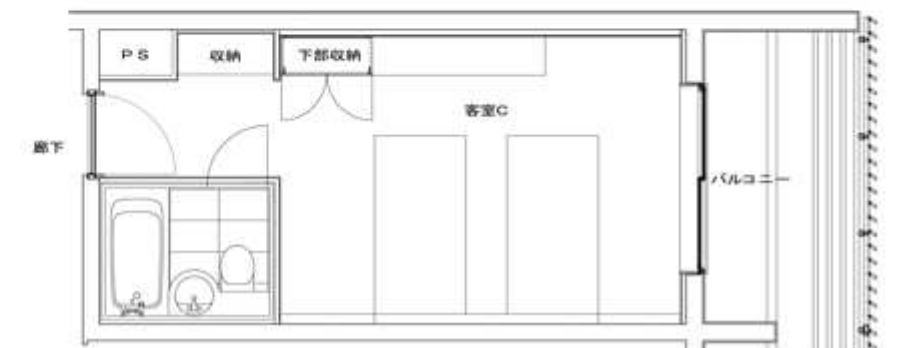
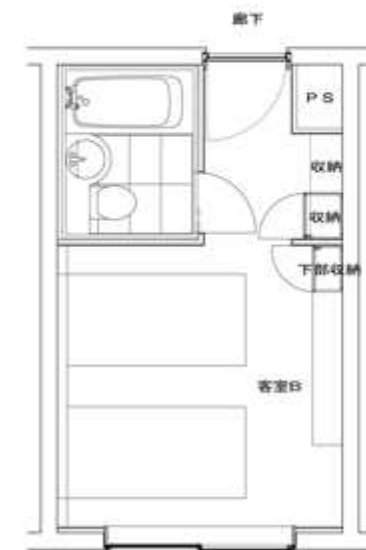
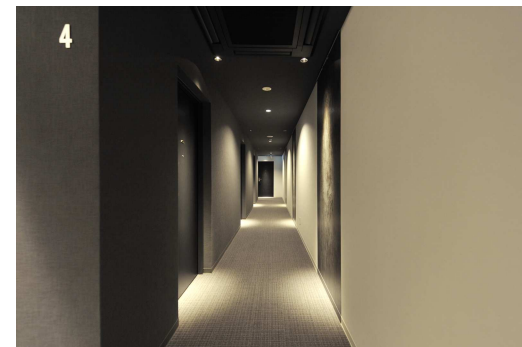
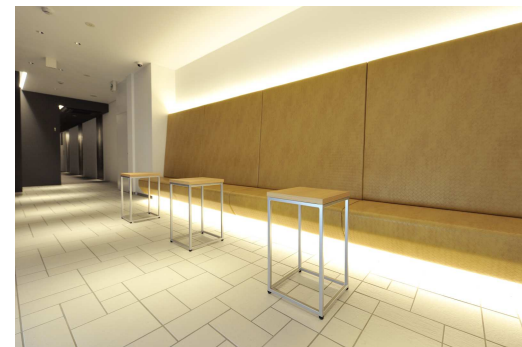
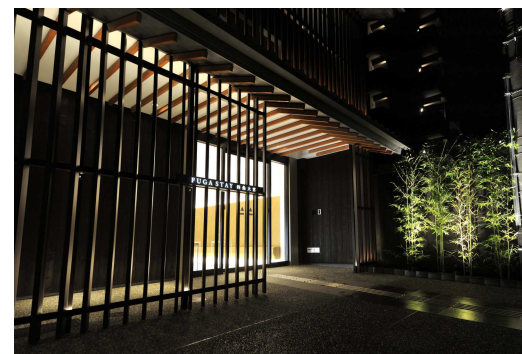
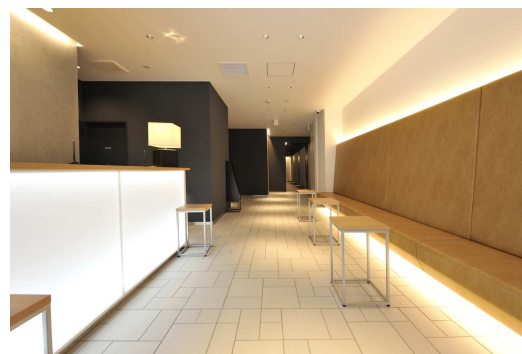
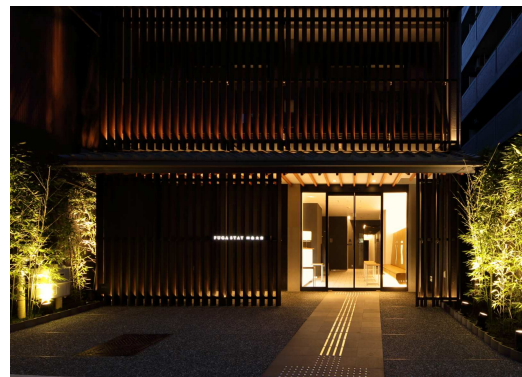


木屋町通

FUGA STAY 四條大宮

和モダンデザインをベースに合理性を追求したホテル

京の隠れ家と言うにふさわしいロケーションのホテルです。
ホテルとしての演出も含め合理性追求の中に
和モダンデザインを意識して創り込んだしつらえがあります。

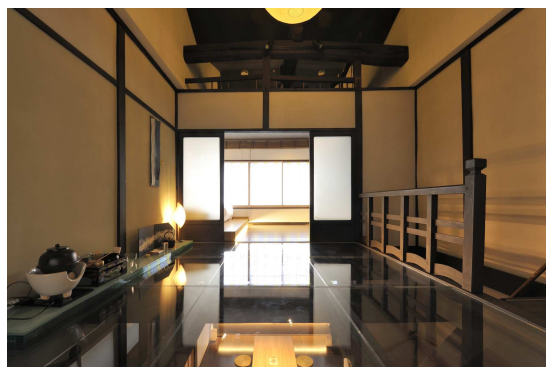
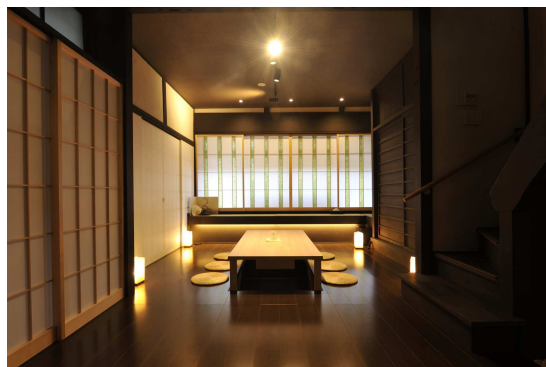
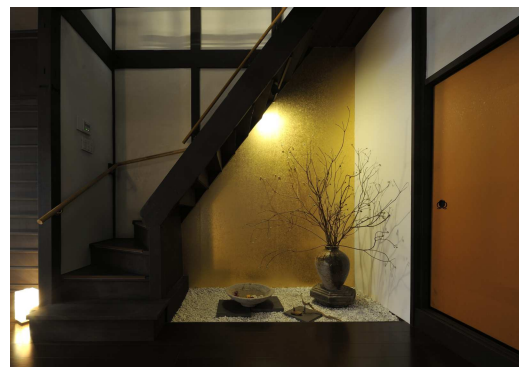


七十七 姉小路邸

古い町家を改修した1組限定の富裕層向けの宿

おくどさん、箱階段、座敷、坪庭・・・

全てに少し手を入れて復活する輝きを現代風にアレンジしています。
さらにひと味、町家特有のまん中の暗い板の間の2階床をガラスに置き替え、
明るさと天井の高さ、広がりを出しました。
なおこの七十七姉小路邸は2018年日経新聞「古民家の宿10選」の中で
8位に選ばれています。



1階平面図



2階平面図

七十七 東山邸

現代の住宅を改修して1組限定で貸し出す宿

普通の住宅に手を入れて宿としての華やかさとくつろぎを演出しています。
年代物の元町家とは一味違った宿としてのしつらえへの変身です。
アプローチもたまたま周囲に残っていた寺社の黒い板壁を借景し、
黒い板壁の一角に宿がある様に演出しています。



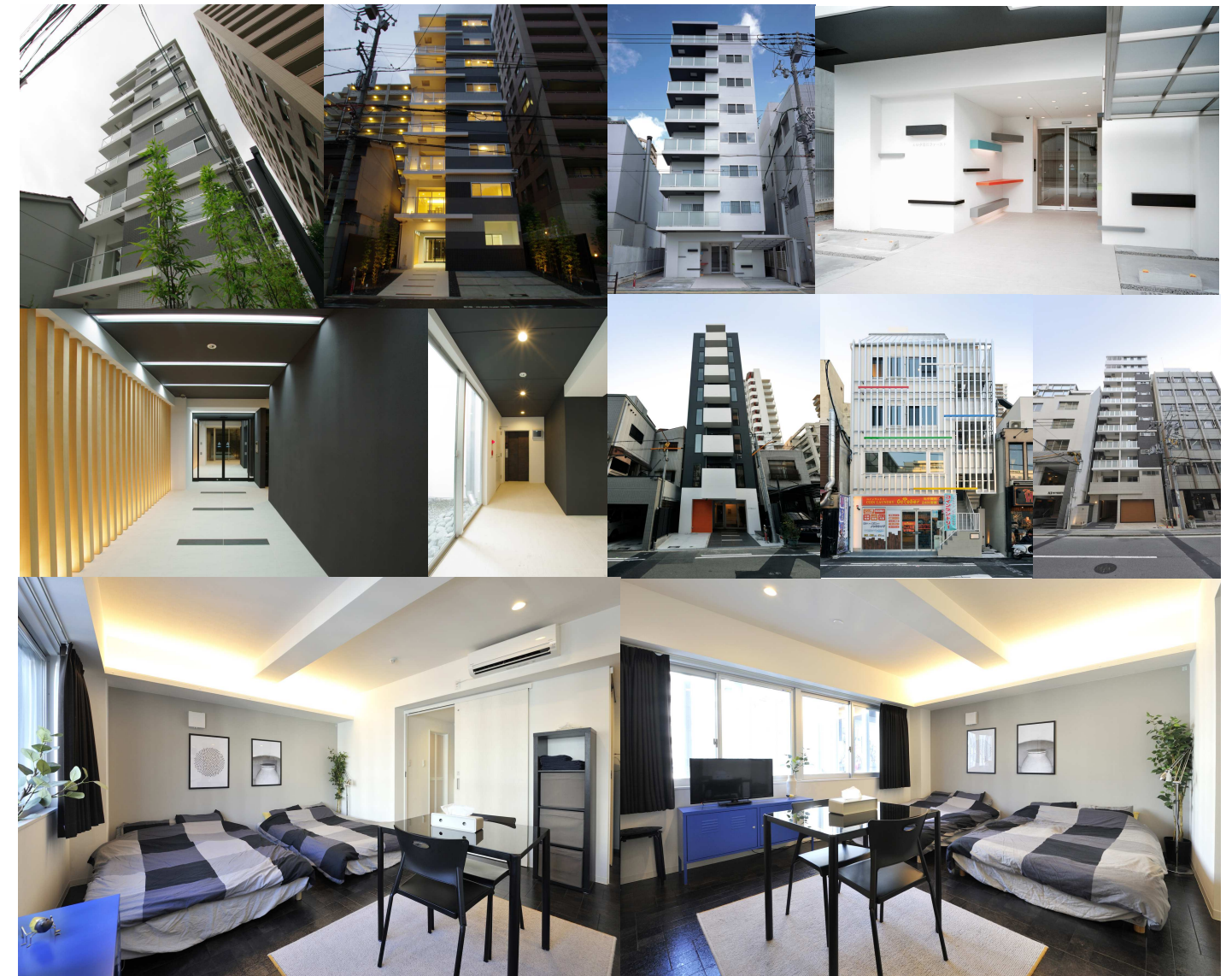
1 階平面図



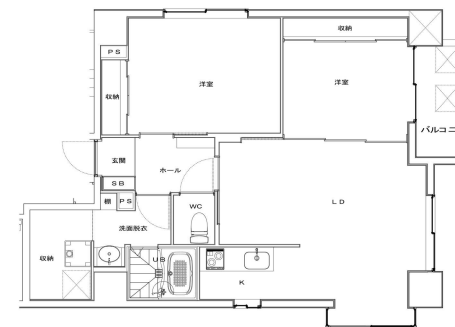
2 階平面図

民泊特区を活用した宿泊施設

大阪での民泊特区制度を活用し、
共同住宅で建設し、民泊申請の上宿泊施設に変身。
共同住宅、宿泊施設どちらの機能にも対応できるようにしつつ、
将来、時代に合わせた互換も可能。
合理性の中に宿泊としての華やかさを加味。



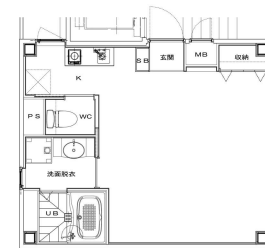
床面積：93㎡



床面積：61㎡



床面積：46㎡



床面積：30㎡

二条邸 旅館のリノベーション

木造2階の座敷にお風呂を設けたいというリクエストへの試み。

- ・ 浴槽設置に耐える構造補強。
- ・ 床を防水し下階へは水を漏らさない。
- ・ 座敷の雰囲気を保ちながら、水がこぼれても耐えられる仕様。
- ・ 十分な湿気対策。
- ・ 浴槽から湯が溢れ流れるリッチ感を味わえるよう浴槽まわりは排水機能を充実。
- ・ 浴槽は座敷に似合う木製に。
- ・ なにより浴槽がオブジェとして座敷で存在感を醸し出しかつ美しく。

ルールを決め全部施せたとしても使い方にはそれなりの注意と手間が必要です。
それでも設けたいというクライアントの熱意とチャレンジ精神には敬服します。

